

VFが疑われる患者には速やかに耐性検査を実施

- **US DHHS¹** : 患者の血漿中HIV-1-RNA量が $> 1,000$ コピー/mLとなった場合、また場合により $500 \sim 1,000$ コピー/mLであっても、患者が失敗したレジメンを継続している間またはそのレジメンを中止してから4週間以内に耐性検査を実施
 - (累積的) 薬剤耐性の程度を評価
 - 可能な限り、患者のこれまでの治療歴およびすべての耐性検査結果を評価
- **EACS²** : 失敗したレジメンを継続している間に耐性検査を実施し、これまでに獲得した耐性変異 (archived mutations) に関しては過去の検査結果を入手
- **IAS-USA³** : 耐性検査は、失敗した抗レトロウイルス療法 (ART) を受けている間または中止後4週間以内に実施することを推奨。HIV-RNA量 $< 1,000$ コピー/mLの場合は、ディープシーケンシング法を用いたプロウイルスDNA解析の実施が可能。検体採取時に、ARTを中止してから1カ月以上経過している患者の耐性検査の信頼性は低下